



「伝わっていた思い」
 笑いあり、涙あり。そんな三年生を送る会だった。その時に流れた時間は卒業生になる三年生にとって、ここ七宝北での三年間のようだった。学校生活すべてを通して、この七宝北中学校の生徒のつながりは強い。部活動を通して、学校行事を通して、共に過ごした時間の重さをお互いに実感したそんな送る会だった。特に部活動毎に先輩たちに贈るエール。生徒会執行部の生徒が『次は男子バレー部です』と言われ、後輩が立つ。そして卒業生も立つ。毎日、当たり前のように雄叫びをあげた言葉を、この最後の機会に共に声をあげる。うれしそうに天を見上げ、雄叫びをあげる。『女子テニス部です』と言われ、席を立つ前に「フー」と息を吐く。そして先輩を見つめ、涙になりそうな声で精一杯にメッセージを伝える。涙で言えない生徒の代わりに、先輩にメッセージを贈る。言い切った生徒も抑えていた気持ちで涙しかなかった。すべての部がそうだった。最後の時に伝えたい思いは伝わっていた。



三年生を送る会 2月23日(木)

